

平成28年3月期経営状況概要

(単位：千円)

項目	予算額	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	執行+支出負担	対予算比
<b>8. 水道事業収益</b>	<b>2,683,867</b>	<b>467,688</b>	<b>2,652,963</b>	<b>98.8%</b>	<b>30,904</b>		
1. 営業収益	2,295,737	184,405	2,325,540	101.3%	△ 29,803		
1. 給水収益	2,260,332	179,193	2,291,126	101.4%	△ 30,794		
2. 受託工事収益							
3. その他営業収益	35,405	5,212	34,414	97.2%	991		
2. 営業外収益	386,718	282,752	325,770	84.2%	60,948		
3. 特別利益	1,412	531	1,654	117.1%	△ 242		
<b>9. 水道事業費用</b>	<b>2,380,313</b>	<b>1,286,954</b>	<b>2,225,111</b>	<b>93.5%</b>	<b>155,202</b>	<b>2,225,111</b>	<b>93.5%</b>
1. 営業費用	2,109,711	1,220,983	1,980,393	93.9%	129,318	1,980,393	93.9%
1. 原水及び浄水費	405,985	52,955	326,478	80.4%	79,507	326,478	80.4%
2. 配水費	286,443	90,155	246,789	86.2%	39,654	246,789	86.2%
3. 給水費	101,623	8,886	98,913	97.3%	2,710	98,913	97.3%
4. 受託工事費							
5. 業務費	162,075	26,720	161,468	99.6%	607	161,468	99.6%
6. 総係費	149,158	40,915	145,322	97.4%	3,836	145,322	97.4%
8. 減価償却費	974,327	971,335	971,335	99.7%	2,992	971,335	99.7%
9. 資産減耗費	30,100	30,016	30,088	100.0%	12	30,088	100.0%
10. その他営業費用							
2. 営業外費用	248,879	65,704	244,007	98.0%	4,872	244,007	98.0%
3. 特別損失	1,723	267	710	41.2%	1,013	710	41.2%
4. 予備費	20,000				20,000		
<b>10. 資本的収入</b>	<b>2,616,378</b>	<b>2,543,837</b>	<b>2,563,458</b>	<b>98.0%</b>	<b>52,920</b>		
1. 企業債	1,336,600	1,281,600	1,281,600	95.9%	55,000		
2. 負担金・補償金	9,759	5,254	12,087	123.9%	△ 2,328		
3. 補助金	526,849	526,849	526,849	100.0%			
4. 出資金	728,104	728,104	728,104	100.0%			
5. 加入金	15,066	2,030	14,818	98.4%	248		
9. その他資本的収入							
<b>11. 資本的支出</b>	<b>3,779,714</b>	<b>2,843,185</b>	<b>3,567,439</b>	<b>94.4%</b>	<b>212,275</b>	<b>3,504,667</b>	<b>92.7%</b>
1. 建設改良費	3,147,607	2,693,075	2,935,335	93.3%	212,272	2,872,563	91.3%
1. 取水施設整備費	761,076	755,028	759,618	99.8%	1,458	759,618	99.8%
2. 導水施設整備費	188,460	188,460	188,460	100.0%			
3. 浄水施設整備費	76,688	72,868	73,894	96.4%	2,794	73,894	96.4%
4. 配給水施設整備費	2,118,359	1,676,720	1,910,734	90.2%	207,625	2,036,422	96.1%
5. 管理施設整備費							
6. 消防設備整備費	3,024		2,630	87.0%	394	2,630	87.0%
2. 企業債償還金	632,107	150,110	632,104	100.0%	3	632,104	100.0%
<b>12. たな卸し資産購入限度額</b>	<b>61,481</b>	<b>1,944</b>	<b>30,445</b>	<b>49.5%</b>	<b>31,036</b>	<b>30,445</b>	<b>49.5%</b>
①有収水量	8,069,200	616,535	8,039,791	99.6%	29,409		
②供給単価	280.12	290.65	284.97	101.7%	△ 4.85		
③給水原価	258.40	2,086.97	276.67	107.1%	△ 18.27		
<b>人件費</b>	<b>235,240</b>	<b>17,774</b>	<b>233,657</b>	<b>99.3%</b>	<b>1,583</b>		
1. 収益的収支	203,332	15,063	201,878	99.3%	1,454		
1. 職員給与費	202,318	14,708	201,046	99.4%	1,272		
2. 特別職(報酬、賃金等)	1,014	355	832	82.1%	182		
2. 資本的収支	31,908	2,712	31,779	99.6%	129		
<b>* 職員給与費</b>	<b>234,226</b>	<b>17,419</b>	<b>232,825</b>	<b>99.4%</b>	<b>1,401</b>		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	9.0%	8.2%	8.8%				
2. 全職員	10.4%	9.7%	10.2%				

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
<b>A. 固定資産</b>	<b>40,591,166</b>	<b>43,059,091</b>	<b>2,467,925</b>	
*減価償却累計額	17,426,310	18,174,387	748,077	
<b>B. 流動資産</b>	<b>3,022,987</b>	<b>3,872,774</b>	<b>849,787</b>	
1. 現金預金	2,712,061	2,796,809	84,748	
2. 未収金	276,762	731,458	454,695	
3. 貸倒引当金	△ 500	△ 500		
4. 貯蔵品	33,973	31,895	△ 2,079	
5. 前払費用・前払金	190	9,501	9,312	工事前払金等
6. その他		303,111	303,111	仮払消費税
<b>D. 水道事業費用</b>		<b>2,170,136</b>	<b>2,170,136</b>	
1. 営業費用		1,925,456	1,925,456	
2. 営業外費用		244,007	244,007	
3. 特別損失		673	673	
<b>1. 借方合計=A+B+C+D</b>	<b>46,840,757</b>	<b>52,502,558</b>	<b>5,497,160</b>	
<b>E. 固定負債</b>	<b>10,686,104</b>	<b>11,281,820</b>	<b>595,716</b>	
1. 企業債	10,368,059	10,994,615	626,556	
2. 引当金	318,045	287,205	△ 30,840	
<b>F. 流動負債</b>	<b>1,098,533</b>	<b>1,721,704</b>	<b>623,170</b>	
1. 企業債	632,104	655,044	22,941	H27年度償還元金
2. 未払金	394,775	825,284	430,508	未払消費税含む
3. 前受金	77	112	35	
4. 引当金	69,681	55,109	△ 14,572	・賞与引当金・修繕引当金
5. 資本的収入整理勘定	1,197		△ 1,197	
6. その他	699	186,155	185,456	
うち仮受消費税		174,252	174,252	
<b>G. 繰延収益</b>	<b>8,983,550</b>	<b>9,480,798</b>	<b>497,248</b>	
1. 長期前受金	8,983,550	9,480,798	497,248	償却資産に係る財源のうち、補助金、補償金・負担金・受贈財産等
* // 収益化累計額	3,226,604	3,400,557	173,953	
<b>H. 資本金</b>	<b>6,026,688</b>	<b>9,340,661</b>	<b>3,313,973</b>	
1. 自己資本金	6,026,688	9,340,661	3,313,973	・固有、繰入(出資)、組入
2. 借入資本金				=企業債元金→負債勘定へ
<b>J. 剰余金</b>	<b>2,619,071</b>	<b>22,900</b>	<b>△ 2,596,172</b>	
1. 資本剰余金	22,900	22,900		・非償却資産にかかるもの
2. 利益剰余金	2,596,172		△ 2,596,172	
<b>K. 水道事業収益</b>		<b>2,479,789</b>	<b>2,479,789</b>	
1. 営業収益		2,155,826	2,155,826	
2. 営業外収益		322,383	322,383	
3. 特別利益		1,580	1,580	
<b>2. 貸方合計=E+F+G+J+K</b>	<b>46,840,757</b>	<b>52,502,558</b>	<b>5,661,801</b>	

a. 供給単価(円、銭)	263.86	=給水収益÷有収水量	
b. 給水原価(円、銭)		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除く	
①実数値	269.84	=原価算入額÷有収水量	当月予算
②シミュレーション		原価算入額に減価償却費の「経過月数/12」を加えたもの	
c. 施設利用率	76.22%	=一日平均配水量÷施設能力	
d. 有収率	84.54%	=有収水量÷配水量	
e. 流動比率	224.94%	=流動資産÷流動負債	
f. 現金預金比率	162.44%	=現金預金÷流動負債	

\*供給単価、給水原価は損益ベースであること

平成28年 3 月期 業務実績報告書(水道管理課)

一 般 事 項

1 料金調定関係

項 目	単 位	A 当 月 期	B 当 年 度 累 計	C 計 画 累 計	D 前 年 度 同 月 累 計	E 対 計 画 比 較	F 対 前 年 比 較
1 調定件数	件	30,302	366,341	366,500	364,059	△159	2,282
2 調定水量	m <sup>3</sup>	612,183	7,988,613	8,018,600	8,001,205	△29,987	△12,592
3 調定料金(税抜)	円	165,919,443	2,121,348,379	2,092,900,000	2,108,487,496	28,448,379	12,860,883
4 口振加入件数	件	25,221	305,121	-	305,095	-	26

2 給水業務関係

項 目	単 位	A 当 月 期	B 当 年 度 累 計	C 前 年 度 同 月 累 計	D 対 前 年 比 較 (B-C)
5 給水人口	人	82,481	-	83,105	△624
6 給水件数	件	30,333	-	30,247	86
7 開栓処理件数	件	526	2,943	3,162	△219
8 閉栓処理件数	件	386	2,868	2,937	△69
9 給水工事設計審査	件	92	726	862	△136
10 給水工事竣工検査	件	100	887	1,093	△206
11 経年メーター交換	件	903	3,789	4,362	△573
12 メーター口径変更	件	5	34	58	△24
13 月末停止件数	件	1	78	71	7

3 料金徴収関係

項 目	A 当 月 末 未 収 額	B 収 納 率	C 前 年 同 期 未 収 額	D 収 納 率
14 当年度分	189,516,602 円	91.73 %	182,686,243 円	91.96 %
15 過年度分	4,137,908 円	97.78 %	3,623,668 円	98.11 %
16 全 体 (計)	193,654,510 円	-	186,309,911 円	-

4 給水装置工事指定業者(迫町1件、市外1件追加、2件廃止)

迫町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
20	8	16	12	13	9	8	14	7	107	114	221

5 入札・契約

(左:累計 右:当月)

項目	累計(落札件数/入札件数)	工事請負	設計業務	業務委託	物品購入	その他
入札件数	114/120	5/5	67/73	3/3	17/17	1/1
契約締結	一般	26	3	26	3	0
	指名	61	0	32	0	13
	随契	27	2	9	0	4
	合計	114	5	67	3	17

※入札中止 当月 0件:累計1件/入札不調 当月 0件:累計6件/入札取消 当月 0件:累計0件/未契約 1件

6 竣工等検査

検査種類	累 計	当 月 件 数	内 容
竣工検査	60	33	工事33件
中間検査	29	4	工事4件(出来高)
合 計	89	37	

7 主な行事・会議

会 議 名	日 時	内 容
部長等連絡調整会議	15日	3月期 事業打合せ等
事業調整会議	16日	第13回 部長等連絡調整会議復命、日程調整
経営分析会議	18日	2月期 経営概況、残高試算表、月報、監査復命
水道事業連絡会議・料金徴収等管理業務委託会議	10日	第12回 業務報告、日程確認、業務打合せ等
安全衛生委員会	8日	第12回 行事計画、日程調整等
水道ブースター会議	16日	第12回 緊急用資材の管理について
給水拠点設置訓練	17日	第12回 南方総合支所
例月出納検査	22日	2月分 例月出納現金検査
指名委員会	2・10日	第33回・第34回
入札	10・25日	5件
緊急メールの発出	-日	漏水情報12、水質情報1、給水水質1、破損情報2

特 記 事 項

1. 3月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

ア 収益的収支

当期の給水収益は179,193千円(税込)で、2月期に比べて2,425千円の減で、予算執行率(累計)は101.4%(前年度99.6%)、対前年同月比(税抜)では5,888千円の増となっています。その他営業収益では他会計負担金4,415千円を含む5,212千円、営業外収益では補助金15,268千円、長期前受金戻入229,121千円、退職給付引当金戻入30,840千円を含む282,752千円となっています。

当期の営業費用は減価償却費971,335千円、資産減耗費30,016千円を含む1,120,983千円の執行で、累計額は1,980,383千円、予算執行率(累計)は93.9%(前年度94.0%)となっております。営業外費用では、企業債利息等65,704千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、企業債1,281,600千円、補助金526,849千円、出資金728,104千円を含む2,543,834千円で、累計2,563,458千円、予算執行率(累計)では98.0%(前年度95.5%)となっております。

支出は、取水施設整備費755,028千円、導水施設整備費188,460千円、浄水施設整備費72,868千円、配給水施設整備費で1,676,720千円、企業債償還金で150,110千円、累計で3,567,439千円を執行し予算執行率(累計)は94.4%(前年度97.5%)となっております。

ウ たな卸し資産購入限度額

当期は、薬品に1,861千円を含む1,944千円、累計で30,445千円を執行し予算執行率は49.5%でした。

2. 今月の出来事

(1) 平成28年度水道事業会計当初予算が可決

3月9日(水)の平成28年登米市議会定例会2月定期議会において「平成28年度登米市水道事業会計予算」が原案通り可決しました。

新年度予算は、予算規模が52億7,380万円で収益的収入および支出のうち、給水収益22億7,102万円を含む水道事業収益は27億732万円、営業費用22億9,451万円を含む水道事業費用は25億6,063万円となります。また、資本的収入および支出については、企業債13億5,930万円、補助金3億4,755万円、出資金5億6,450万円を含む資本的収入は25億7,371万円、建設改良費30億9,375万円を含む資本的支出は37億4,880万円となります。

(2) 常任委員会で新年度予算案と主要事業を説明

3月1日(火)に総務企画常任委員会が開催されました。調査内容は2月定期議会への付議案件のうち平成28年度当初予算と主要事業についてでした。各委員からは、災害への対応や、原水の水質悪化による影響また、今後の広域化への考え方についての質問がありました。さらに、主要事業の進捗状況については、各事業の進捗状況と新年度での事業予定について報告しました。

(3) 水道モニター会議の開催

3月24日(木)に今年度3回目のモニター会議を開催しました。会議のうち、モニターの方から回収したアンケートの集計結果については、震災の教訓からか飲料水の備蓄への関心は引き続き高い結果となりましたが、実際の備蓄率については減少傾向にありました。また、平成28年度の当初予算の概要についても説明を行いました。また、人口減少にある中での水道の将来への計画についての質問があり、アセットマネジメントによる施設更新計画についての説明を行いました。



水道モニター会議の様子

(4) 資金管理運用委員会を開催

3月8日(火)に資金管理運用委員会を開催し3月17日に満期を迎える4億円の定期預金(みやぎ登米農協とよま支店)を引き続き1年間預け入れることで決定しました。また、会議に入る前に七十七銀行登米支店長を迎え「マイナス金利と今後の影響」についての解説を委員会以外の職員も受講しました。

# 平成28年 3月期 業務実績報告書 ( 水道施設課 )

## 一 般 事 項

### 経営分析の状況

#### ◎配水量の状況

(単位: m<sup>3</sup>)

項 目	A 当月実績	B 実績累計	C 計画累計	D 前年累計	E 比 較	
					対計画 B-C	対前年度 B-D
総取水量	826,372	9,987,916	10,005,080	10,218,652	-17,164	-230,736
総配水量	793,415	9,510,155	9,605,440	9,699,123	-95,285	-188,968
1 有効水量	684,794	8,695,498	8,677,740	8,807,721	17,758	-112,223
(1)有収水量	616,535	8,039,791	8,069,200	8,055,307	-29,409	-15,516
(2)無収水量	68,259	655,707	608,540	752,414	47,160	-96,707
2 無効水量	108,621	814,657	927,700	891,402	-113,043	-76,745
(1)漏水量	106,995	804,368	919,000	882,604	-114,632	-78,236
(2)その他無効水量	1,626	10,289	8,700	8,798	1,589	1,491
3 有収率	77.71	84.54	84.01	83.05	0.53	1.49

※当月期の最大配水量は、28日(月)【26,575m<sup>3</sup>】です。

#### ◎主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業等の状況	予 算 額 (A)		施 工 中 額 (B)		竣 工 額 (C)		残 額 (D)=A-(B+C)	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	金 額	率%
ア 取水施設整備事業	3	761,076	0	0	4	759,618	1,458	99.8%
イ 導水施設整備事業	1	188,460	0	0	1	188,460	0	100%
ウ 浄水施設整備事業	14	76,688	0	0	7	73,894	2,794	96.4%
エ 配給水施設整備事業	94	2,118,359	6	125,688	77	1,910,734	81,937	96.1%

\*注1 件数及び金額は工事+委託(事務費・人件費)の合計です。

#### ◎毎日検査 ※おいしい水の条件 遊離残留塩素0.4mg/L以下

	保呂羽浄水場 F1遊離残留塩素	保呂羽浄水場水系 (測定戸数: 7)	東和町水系 (測定戸数: 6)	石越町水系 (測定戸数: 2)	大萱沢浄水場水系 (測定戸数: 1)
平均	0.67	0.45	0.46	0.57	0.44
最低	0.53	0.24	0.40	0.41	0.41
最高	0.88	0.62	0.70	0.74	0.46

#### ◎登米水道の放射性物質測定結果(検出されませんでした)

採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)		採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)	
		セシウム134	セシウム137			セシウム134	セシウム137
保呂羽浄水場	H28.3.17	<0.5	<0.4	米谷水系浄水場	—	—	—
石越浄水場	H28.3.17	<0.5	<0.5	楼台水系浄水場	—	—	—
大萱沢浄水場	H28.3.17	<0.5	<0.5	合ノ木浄水場	—	—	—
米川水系浄水場	—	—	—	大綱木浄水場	—	—	—
錦織水系浄水場	H28.3.17	<0.5	<0.5	—	—	—	—

## 特 記 事 項

### 1 大萱沢浄水場において、緊急災害訓練実施

「浄水施設等管理運転業務」が平成28年度から平成32年度までの5年契約で委託され4月からの業務履行にむけ、受託者(明電舎・アイ・ケー・エス共同企業体)が新規職員育成のため、緊急災害訓練を実施しました。

訓練は、大雨に伴う原水濁度上昇及び濁水に伴う取水制限を想定し、実施しました。

河川からの取水を停止し、予備水源(平成26年度施工:水中ポンプ)から地下水を取水し浄水処理する訓練を実施しました。

水量、水質ともに安定した取水が確保されることも確認しました。

なお、濁水期に再度訓練を実施します。



### 2 新田配水池完成

平成26年度に着手した新田配水池関連施設が完成しました。

震災等緊急時に備え構築した施設で、北方配水池・倉崎増圧ポンプとともに、迫川西部地区の安定給水の拠点施設として供用開始していきます。残る付帯施設工事は平成28年7月完成に向け施工中です。



### 3 有収率が84.54%

平成27年度の有収率が84.54%で、平成17年登米市水道事業所発足後、有収率が初の84%超となりました。計画有収率84.01%と比較し0.53%上回る良好な結果となりました。

老朽管や漏水多発路線は、計画的にダクタイル鋳鉄管等の耐震管や漏水の少ない管種に布設替を実施しました。また、管種・漏水実績等から重点調査区域を設定し、効率的に漏水調査を行い、早期に対応しました。

今後も、計画的な老朽管等の布設替はもとより、継続した管路調査による漏水の早期発見・修理、配水ブロックの検討・再編により、更なる有収率の向上を目指します。

### 4 データ伝送装置設置

これまで遠方監視の出来なかった合ノ木・大綱木浄水場の配水池水位・配水流量、大萱沢浄水場系7施設の各種運転情報、森ノ腰他9増圧施設、3配水池にデータ伝送装置を設置しました。

監視装置により、保呂羽浄水場において遠方施設の運転状況が監視可能になるとともに、施設の異常等も早期発見・対応が可能となりました。

今後は、各施設のデータにより運転形態・配水状況等様々な分析が可能となりました。

### 5 平成28年3月の漏水調査結果について

3月末の漏水調査の結果113件100.549m<sup>3</sup>/h(累計)の漏水を発見しています。

### 6 地震発生状況

5月13日以来、登米市内における震度4以上の地震は発生しておりません。

漏水調査結果

施設	件数	漏水量(m <sup>3</sup> /h)
配水管	39	62.480
付属施設	7	1.19
給水管	67	36.879
計	113	100.549